

奈良県立医科大学整形外科で診療を受けられるかたへ

奈良県立医科大学整形外科では、診療に必要なデータ、既往症、治療法、合併症などをデータベース化しています。よりよい医療を確立するために、治療結果も含めた様々なデータを分析し、その結果を学会や学術誌などに公開する必要があります。研究活動を実施する際は、法令や倫理指針、関係団体などのガイドラインに沿って誠実に遂行し、氏名などの個人情報に判明することのないように厳格に配慮いたします。以下に示す研究内容は、奈良県立医科大学の医の倫理審査委員会にて、その研究の実施の承認を受けております。研究はいつでも参加を取り消すことができます。研究参加を希望されない場合やご質問・ご意見がございましたら、下記相談先にご連絡ください。なお、個人情報の開示に関わる手続きは、奈良県立医科大学附属病院の個人情報開示に基づき開示手続きを行います。詳しくは下記を参照下さい。

<http://www.naramed-u.ac.jp/hospital/kojinjoho.html>

研究一覧

対象	1998 年 10 月以降に奈良医大付属病院にて骨・軟部腫瘍の治療を受けられた 25 歳以下の患者様
研究内容	当院に保管されている記録（画像・カルテ）から、予後、治療の効果、機能予後、社会復帰の状況などを検索し、この世代特有の問題点とその解決法を探索します。
実施担当医師	朴木寛弥、塚本真治

対象	1982 年 7 月以降に奈良医大付属病院にて骨・軟部腫瘍の生検や手術治療を受けられた患者様
研究内容	当院に保管されている病理組織標本の免疫染色を行い、腫瘍の悪性度や発生・進展機構に関与するとされる分子の発現を検索し、新たな診断法・治療法の探索を行います。
実施担当医師	朴木寛弥、塚本真治

研究課題名	足関節の色素性絨毛性滑膜炎における切除後の臨床的・腫瘍学的な予後の調査
研究対象者	1998年から2016年12月の間に奈良県立医科大学整形外科で手術を受けた足関節の色素性絨毛性滑膜炎の患者様
研究目的	足関節の色素性絨毛性滑膜炎に対して最適な手術方法（鏡視下滑膜切除、切開切除、関節固定術の併用）などはまだ確立されていないため、予後を調査することで至適術式を探索する。
研究評価項目	腫瘍の大きさ、術式、再発の有無や再発までの期間、術後患肢機能評価（Scoring system of the Musculoskeletal Tumour Society）
研究期間	2017年1月から2019年12月まで
主な研究担当医師	塚本 真治、朴木 寛弥、田中 康仁

研究課題名	全国骨軟部腫瘍登録
研究対象者	各年度に、奈良県立医科大学で診断・治療された骨・軟部腫瘍（原発性悪性骨腫瘍、原発性良性骨腫瘍、原発性悪性軟部腫瘍、原発性良性軟部腫瘍、転移性骨腫瘍）のある患者様
研究目的	我が国における骨・軟部腫瘍（原発性悪性骨腫瘍、原発性良性骨腫瘍、原発性悪性軟部腫瘍、原発性良性軟部腫瘍、転移性骨腫瘍）の発生頻度とその治療の実態を明らかにすることにより、これらの腫瘍に対する診療・研究の質の向上を図り、国民の健康の向上に貢献することを目的とする。当大学も登録施設となっており、国立がん研究センターへ以下のデータを提供しています。
研究評価項目	登録情報は、患者 ID、年齢、性別などの“基本データ”項目、組織診断、発生部位、大きさなどの“腫瘍”項目、術式、再建法、追加手術などの“手術”項目、化学療法、放射線治療、温熱療法などの“その他治療”項目、再発、転移などの“予後”項目、の5大入力項目よりなる。
主な研究担当医師	塚本 真治、藤井 宏真、城戸 颯、朴木 寛弥、田中 康仁
相談先	奈良医大整形外科学教室（0744-22-3051, 内線 3425, 2324）